



平成 20 年 5 月 15 日

各 位

伊藤忠エネクス株式会社
代表者名 取締役社長 小寺 明
(コード番号 8133 東証1部)
問合せ先 IR 広報室長 高橋博美
(TEL : 03-5436-9356)

グループ中期経営計画策定に関するお知らせ

弊社グループは、中期ビジョン「創生 2008」(2004 年度～2008 年度)の成果と期間中の環境変化に対応し、新たな成長路線確立の為のグループ中期経営計画「**Core & Synergy 2010**」(2008 年度から 2010 年度までの 3 ヶ年)を策定しましたので、下記の通り概要をお知らせいたします。

国内需要の減少が顕著な事業環境において、弊社グループは持続的な成長を確保することを目的とし、新たな経営資源・機能・ビジネスモデルの獲得による事業基盤の再構築を柱とした本計画を、グループ力を結集し実行するものであります。

— 記 —

1. グループ中期経営計画策定の背景

弊社グループは、2004 年 3 月に組織構造改革を柱とした中期ビジョン「創生 2008」(対象期間 5 ヶ年：2004 年度～2008 年度)を策定し、組織構造改革による意思決定のスピードアップ、及び事業領域の整備による事業の選択と集中等の当初の目的は一定の成果をあげ、今年度にて計画最終年度を迎えます。又、期間中には定期的なローリング作業により、事業環境の変化に対応した戦略戦術面の見直しも繰り返しながら同時に、経営資源の再配置による事業構造の最適化を行なってまいりました。

このような過程を経て、昨年度下期に弊社の二大事業である石油事業と LP ガス事業において、流通段階における川上方向、すなわち垂直形態の大規模案件が結実することとなりました。従いまして、新グループ中期経営計画は、組織構造改革に一定の成果を得た弊社グループが、内需の伸びの鈍化を新たな成長戦略で克服し、更なる成長路線を確立すべく速やかに経営計画への落とし込みを行なったものであります。

2. グループ中期経営計画概要

<位置付け>

新たな経営資源・機能・ビジネスモデルの獲得によって、グループの事業基盤の再構築を行い、成長路線を確立する期間であると位置付けしております。

<基本方針>

グループ力の結集によって、垂直水平方向のグローバル展開を図り、コア事業の強化及びシナジーの創出を行い、収益倍増を実現します。

<呼 称>

「Core & Synergy 2010」 ～変革の実行を通じて新たなステージへ～

<期 間>

3 ヶ年 (2008 年度～2010 年度)

<定量目標>

(2010 年度連結業績計画)	■売上高	1. 8 兆円	■ROE	8.0%
	■営業利益	155 億円	■EPS	68.0円
	■経常利益	159 億円		
	■当期純利益	80 億円		

以上